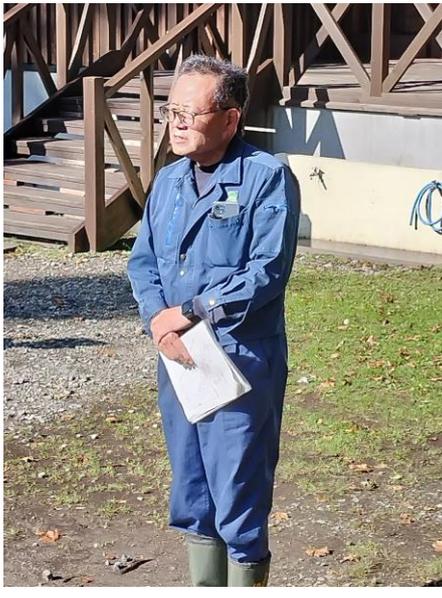


社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）札幌林業土木協会

活動内容	ポロトキャンプ場の施設整備
1 実施年月日 : 令和6年10月16日（水） 2 実施場所 : 北海道白老町 白老国有林 胆振東部森林管理署管内 ポロト自然休養林 3 参加会員数 : 胆振東部森林管理署1人 会員企業22社28人及び事務局1人 合計30人 4 活動内容	胆振東部森林管理署が管理する苫小牧市周辺の63千haの国有林の中でもポロト湖周辺のポロト自然休養林（395ha）は、豊かな森林と湖に囲まれたエリアであり、整備された散策路では、四季折々の景色を楽しむことができます。 また、「民族共生象徴空間ウポポイ」を中心としたアイヌ文化発信の拠点が隣接し、国有林内にはキャンプ場なども整備されています。 このキャンプ場内には木製テーブルや木製ベンチが設置されていますが、老朽化が進み補修・更新が必要となっていました。 そこで胆振東部森林管理署と相談し、当協会でも木製テーブルと木製ベンチの交換をすることとしました。 作業当日は、22企業28人及び森林管理署から1名が参加し、3班に分かれて老朽化の激しいテーブル3台とベンチ6台を撤去し、新規に設置しました。 キャンプ場利用者からは、キャンプ場の関連施設整備に関する要望があることから、当協会では地域のニーズに応える社会貢献活動を引き続き行う予定です。
活動写真	
	
中島ボランティア委員長のあいさつ	櫻庭森林管理署長のあいさつ



老朽化したテーブル・ベンチ撤去



第1班完成



テーブル・ベンチ組み立て



第2班完成



取り付け

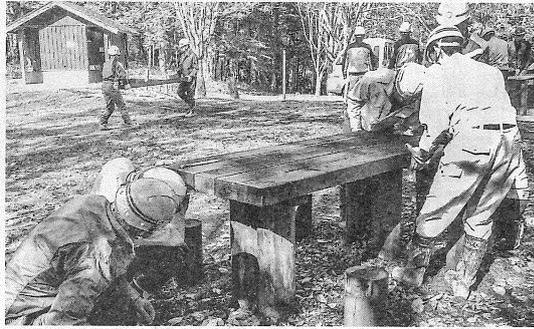


第3班完成

【苫小牧】札幌林業士
木協会は16日、白老町内のポロト自然休養林にあるキャンプ場で老朽化した

テーブルを取り換え

札幌林業士
木協会の白老のキャンプ場で



3班に分かれて利用環境の改善を図った

たテーブルとベンチを取り換えた。28人が参加し、利用者が安全に使える環境を整えた。

民族共生象徴空間(ウポポイ)に隣接する自然休養林での環境維持活動。利用者の増加を見据え、今回で6年目を迎えた。

あいさつで中島功治ボランティア委員長は「ゆつくり丁寧、安全に作業を進めて」と呼び掛けた。胆振東部森林管理署の櫻庭英明署長は「協力を感謝する。安全意識を高めて臨んでほしい」と伝えた。

22社の28人が3班に分かれて作業。損傷の激しいテーブル3基とベンチ6基を撤去し、新品に取り換えた。